



PDF



### 8 3 . オオキトンボ *Sympetrum uniforme*



写真2-98 . オオキトンボ . 小野市河合西町 . 1991.10.13. [タンデム](#) . (新村捷介氏撮影) .

分布：神戸に限らず各地で極端に減少しているアカトンボです．神戸では1964年10月26日に西区押部谷町でオス1頭メス1頭が，1965年7月14日に西区玉津町でオス2頭メス1頭がそれぞれ松本健嗣氏によって採集されており，1971年7月19日に北区道場町で未熟なメスが1頭出現したのを岩崎正道氏が目撃されています．また松本氏は玉津町別府(別府とあるが白水であろう)の池にいたと記しています．これらがおそらく神戸での本種の過去の記録すべてです．筆者は，1991年秋に玉津町でのべ7頭を目撃し，オス1頭メス1頭を採集しました．その後，1997年に西区神出町で目撃されています(大嶋範行氏私信)．

生態：市外の産地での記録によると，7月中旬には羽化しているようです．未熟な個体は羽化地周辺の広い草地で生活しています．10月に入ると丘陵地の皿状の池に好んで集まってきて，[連結打水産卵](#)をおこないます．オスは池のまわりで静止してメスを待っていますが，敏しょうで，近づくとすぐに飛び立ちます．かなり頻繁に，[停止飛翔](#)をしながら周辺をパトロールします．

形態：腹長30～35mm．大型のアカトンボです．[キトンボ](#)とは翅の黄色い部分の広がり方がちがうので区別できます．[ショウジョウトンボ](#)のメスで黄色みの強い個体とよくまちがえられますが，本種は腹部が細く，両種をならべてくらべると全然にいていません．



デジタル化 新・神戸の自然シリーズ1 神戸のトンボ [メニューへ](#)